

5 仕様

項目	仕様
電源電圧	DC15V(電源ユニットより給電)
消費電力	0.3W
使用環境 (照明器具周囲環境)	温度：5～35℃ 湿度：85%RH以下 結露しないこと
使用場所	屋内 (但し、水、水蒸気、熱気、直射日光のあたらないところ、腐食性ガス、振動、結露のおそれのない場所)
本体材質	PC+ABS樹脂(白)
質量	0.05kg

※短時間での消灯⇔点灯動作は、照明器具がちらつく場合があります。

6 保証とアフターサービス

〈無償修理規定〉

1.保証期間内に故障して、無償修理をご依頼の場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

2.無償保証期間及び範囲

- 据付けた当日を含めた1年間としますが無償にて支給、修理するのは、故障した部品または当社が交換を認めたユニットに限ります。ただし、3項に記載する使用方法による損傷や故障については、保証期間内であっても修理は有償となります。
- 無償保証期間経過後の修理につきましては、お買上げの販売店にご相談ください。
- 本機の修理用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店にご相談ください。

3.保証期間内でも次の場合には有償修理になります。

- (1) 仕様範囲外で使用したことによる事故、損傷や故障の場合
- (2) 改造した場合
- (3) 操作方法、調整、定期点検が不備なことによる事故、損傷、故障の場合
- (4) 据付け場所不備による事故、損傷や故障の場合
 - ・化学薬品及び強電界等の特殊環境条件
 - ・結露、塩害、有害ガス等
- (5) 据付け工事に不都合がある場合
 - ・据付け工事中取扱い不良のための事故、損傷や故障の場合
- (6) 火災、地震、風水害、落雷その他天災地変、公害や異常電圧による事故、損傷や故障の場合
- (7) 本機事故に起因した営業保証等の2次保証はいたしません。
- (8) その他、据付け、操作、調整、保守、取扱常識となっている内容を逸脱した使用での事故、損傷や故障の場合は保証できません。

4.本製品は日本国内専用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

No servicing is available outside of Japan.

5.この保証内容は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証内容によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船 2-14-40

ご相談窓口 照明技術相談センター
0120-348-027 (無料)
受付時間 9時～17時 (土・日・祝日は除く)
FAX (0467) 46-8861

お買上げの販売店等にご依頼できない場合は、ご相談窓口へお問い合わせください。



三菱照明制御器
信号調光ユニット

形名 **SC0600**

施工・取扱説明書 (施工者向け) このたびは三菱照明制御器をお買上げいただきありがとうございました。

この説明書は三菱照明制御器「信号調光ユニット」の取扱いについて記載しております。よくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- お使いになる方は、いつでも見られる所に保管し、お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。
- 本機は、当社製の適合照明器具に接続して、MILCO.S コントローラや当社製の信号制御調光器と組み合わせて使用できます。
- 適合照明器具は、Myシリーズ40形ライトユニット 固定出力段調光(AHTN)になります。本機単体及び他のシステムと組み合わせての使用はできません。

1 安全のために必ず守ること

図記号の意味は次のとおりです。



- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

警告		誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。	
禁止	改造、修理は絶対しない。 (感電、火災等の原因)	厳守	据付工事は、この取扱説明書に従い確実に行う。 (据付けに不備があると感電、火災等の原因)
	本機のすき間や穴に金属類を差し込まない。 (感電、火災等の原因)		電気工事は、電気工事士の資格者が「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び本説明書に従い施工する。 (感電、火災等の原因)
	本機を布や紙など燃えやすい物で覆ったり、かぶせたりして使用しない。(火災の原因)		据付けは、販売店または専門業者に依頼する。 (お客様自身で据付工事をされ不備があると感電、火災等の原因)
	電源を入れたまま本機のお手入れをしない。 (感電の原因)		
異常時の処置		煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合は、すぐに電源を切る。(感電、火災の原因) 煙が出なくなるのを確認して、お買上げの販売店にご相談ください。	

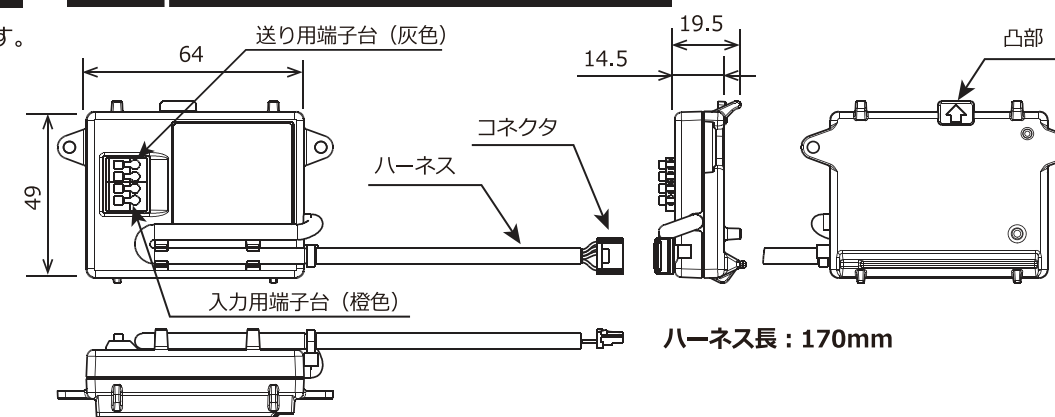
注意		誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。	
禁止	通信線端子台に〈AC100V等〉の電源線を接続しない。 (感電、火災の原因)	厳守	適合通信線の被覆を剥がし、1本ずつ通信線端子台に確実に接続する。(接続が不十分な場合は接触不良により感電、火災の原因)
	ハーネスを器具にはさみこんだり、吊りボルトにはさみこまない。(地絡の恐れ)		当社MILCO.S コントローラ、信号制御調光器以外は使用しない。 (火災の原因)
	可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。 (万一ガスが漏れて本機周囲に溜まると発火の原因)		

2 現地手配部品

据付けには、下記のものが必要です。現地にて手配してください。

- 調光信号線
CPEV、FCPEV
Φ0.9mm、Φ1.2mm 1P

3 各部の名称と外形寸法

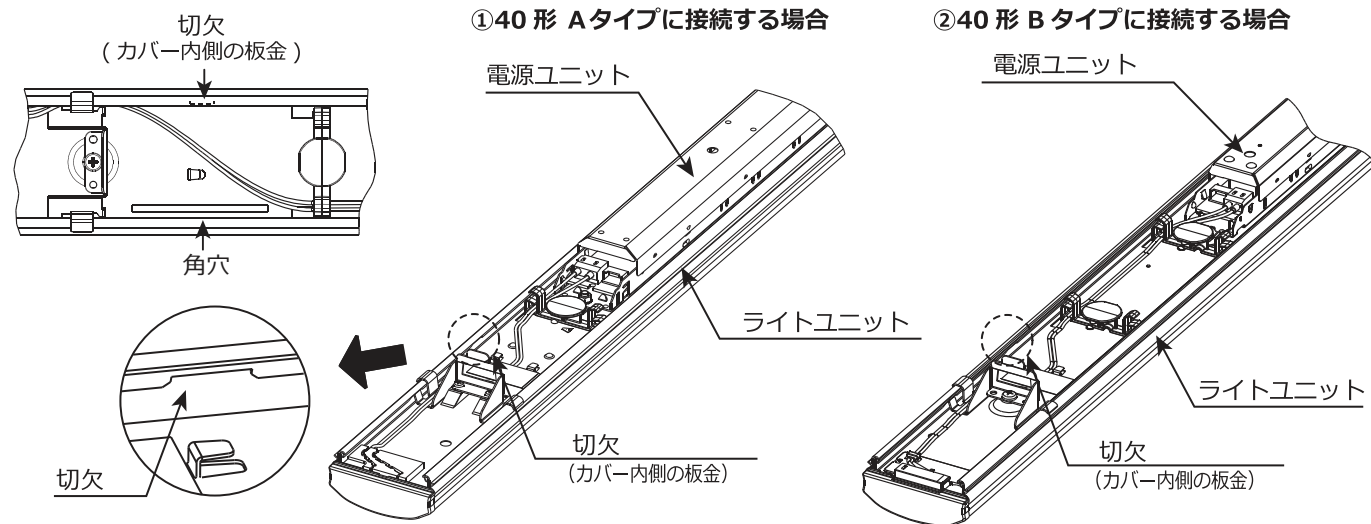


4 ライトユニットへの取付け方法

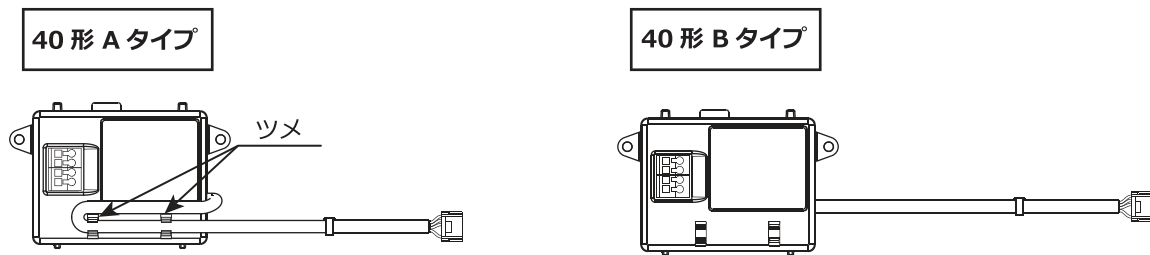
本取扱説明書は、ライトユニットで共通となりますので、お求めの器具と姿図が異なる場合があります。

注意 ライトユニットへの取付けは電源を切ってから行ってください。(感電や故障の原因)

- (1) ライトユニットの種類および取付位置の角穴、切欠を確認してください。
ライトユニットはタイプにより電源ユニットの長さやコネクタ受の位置が違います。

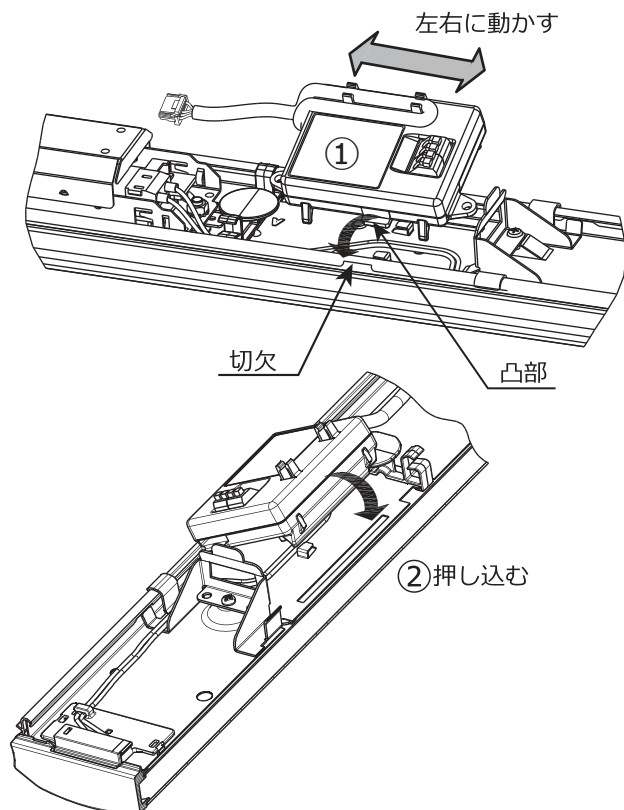


- (2) Aタイプをご使用の場合はツメにハーネスを取り付けたまま使用してください。
Bタイプのライトユニットをご使用の場合は信号調光ユニットのハーネスをツメより取り外しご使用ください。



- (3) 信号調光ユニットを取付けてください。

- ①信号調光ユニットを傾け、凸部をライトユニットの切欠に差込んでください。
信号調光ユニットを左右に動かす、信号調光ユニットが動かないことを確認してください。
(動く場合、切欠に凸部が差し込まれていません。)
- ②信号調光ユニットをライトユニットに凸部の反対側をカチッと音が鳴るまで押し込んでください。
信号調光ユニットが確実に固定されていることを確認してください。

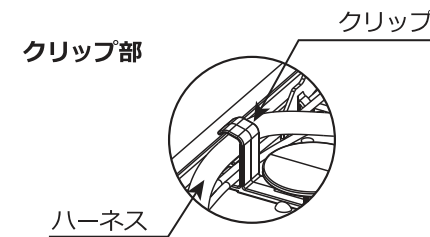
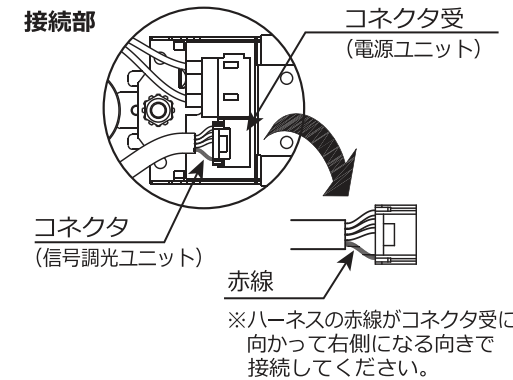


※光源へつながる線(赤・黒線)をはさみこまないように注意してください。
(特性を満足できなくなる場合があります。)

- (4) コネクタを接続してください。

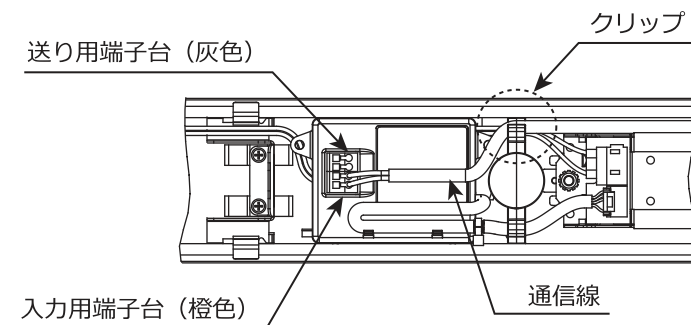
- ①信号調光ユニットのコネクタと電源ユニットのコネクタ受を接続してください。
②コネクタを接続した後は、ハーネスを持って軽く引っ張り、外れないことを確認してください。
③ハーネスをクリップに通し、ハーネスを固定してください。(40形Aタイプは1ヶ所、40形Bタイプは2ヶ所)
④ハーネスはライトユニットからはみ出さないように固定してください。

※ハーネスとクリップの固定が不十分な場合、ハーネスが器具本体とライトユニットにはさまれたり、吊りボルトにはさまれて、性能・機能を満足できないことがあります。

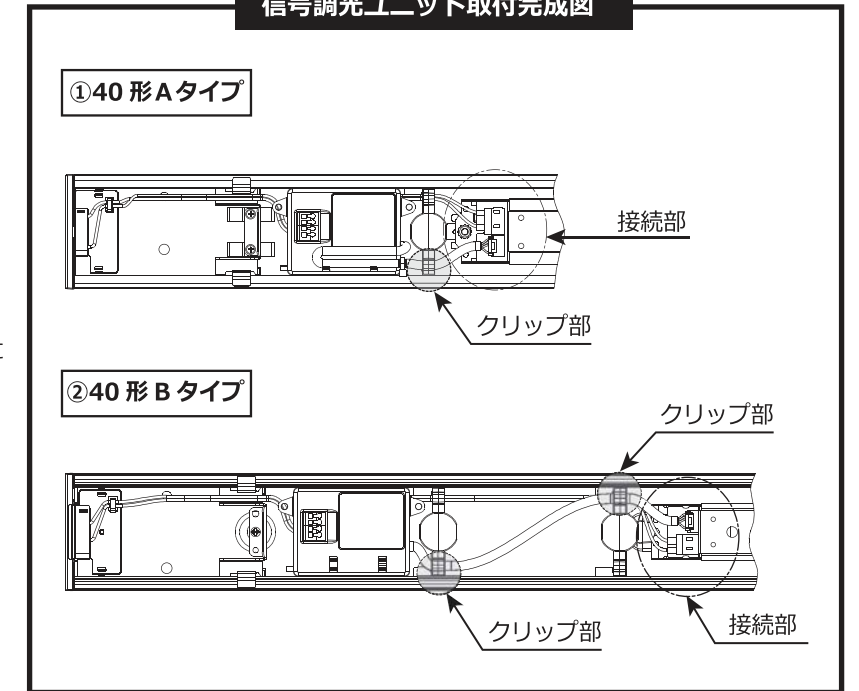


- (5) 調光信号線を接続してください。

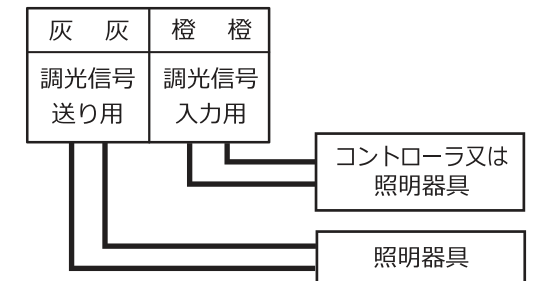
- ①信号調光ユニットの入力用端子台(橙色)に調光信号線を接続してください。
送り線を接続するときは、送り用端子台(灰色)に調光信号線を接続してください。
②調光信号線は剥き線部分が外に出ないように確実に差し込んでください。
また、差し込んだ後は、軽く線を引っ張り、十分に差し込まれていることを確認してください。
③調光信号線はクリップに固定してください。



信号調光ユニット取付完成図



【調光信号線 配線図】



■通信線剥き長さ

